



# 一橋大学大学院経済学研究科 博士課程 EBPMプログラム

Program for Evidence-based Policy Making

一橋大学EBPMプログラムは、  
特別選考(AO)による社会人の博士後期課程編入学生を対象にした、  
EBPM(証拠に基づく政策立案)のための  
高度な実証研究を行うことを目的とするプログラムです。

## 背景とねらい

少子高齢化の進展や産業構造の急速な変化、厳しい財政状況の下で、我が国の政策運営はますます難しくなっています。政策を取り巻く現状や政策課題を的確に把握し、限られた資源の中でできるだけ効果的な、しかも信頼性の高い政策を立案する必要性が高まっています。また、政策効果を客観的に評価し、必要であれば適切に修正する姿勢も求められています。こうした要請に応えるためには、各種統計を積極的に活用したEBPM(証拠に基づく政策立案；Evidence-based policy making)を推進する必要があります。

一橋大学では、こうしたEBPMを推進する人材を育成するEBPMプログラムを、大学院経済学研究科の博士後期課程に新設しました。すでに修士号を取得し、中央官庁や研究機関、シンクタンクなど社会の第一線で活躍されている社会の方々を対象として、EBPMのための高度な実証研究を行うための専門的な知識を習得していただくためのプログラムです。

## 特徴

### 日常業務と両立しながら学べる

平日夜・千代田キャンパス(竹橋)での開講とオンライン授業の併用(**EBPM概論**)、指導教員による柔軟な指導など、日常業務と両立しながら無理なく修士号取得を目指せる、柔軟な履修プログラムを用意しています。

### 高度で多彩な専門科目を履修

EBPMに関する高度で多彩な専門科目を履修できるほか、**EBPMワークショップ**では最先端の研究成果に触れられ、議論に参加できます。

### 少人数制による密度の高い指導

一橋大学の伝統である少人数の演習(**EBPM演習**)を通じて、高度で密度の高い指導を受けられます。社会人院生は、無理のない受講の仕方を指導教員と相談して調整できます。

### 豊富な知識や経験を持つスタッフ

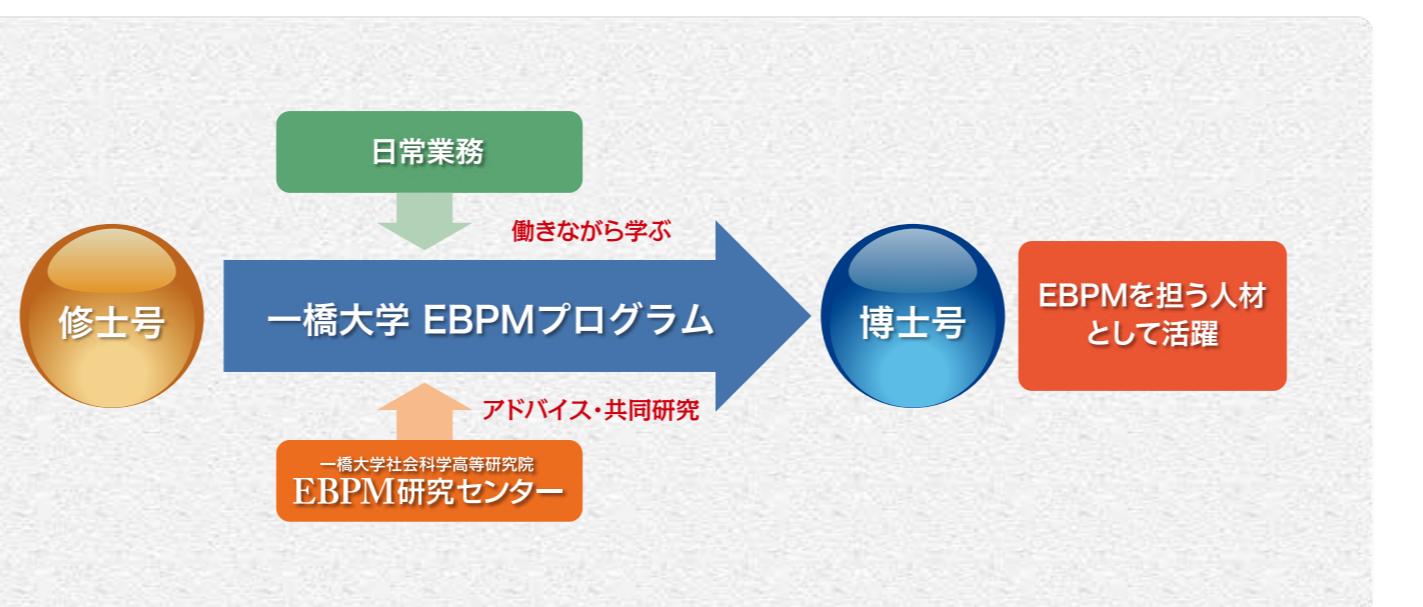
社会科学高等研究院(HIAS)の**EBPM研究センター**の研究員を始め、EBPMに関する豊富な知識や経験を有する数多くのスタッフによる指導を受けられるほか、共同研究の場も提供します。

## EBPMプログラムに応募するには

- EBPMプログラムに参加するためには、一橋大学大学院経済学研究科の博士後期課程編入学の特別選考(AO入試)を受験し、合格する必要があります。
- 特別選考の受験者には、修士レベルの教育的バックグラウンドに加え、明確な研究テーマと、周到かつ具体的な研究計画を持っていることが強く期待されます。さらに、編入学後に博士論文作成のために必要な研究上のスキルを短期間で身につける心構えも要求されます。
- EBPMプログラムへの参加選考については、入学後に説明します。
- 志願者には、出願に先立ち、本研究科に研究テーマについて指導可能な教員がいることを十分に確認し、事前に該当する教員に連絡を取ることを勧めます。EBPM研究センター所属の研究員(P.5)が、必要に応じてご相談に乗りります。

## EBPMプログラムを修了し、修士号を取得するには

- 博士後期課程に3年以上在学し、所定の授業科目を履修して20単位以上を取得するのに加え、学位論文を提出しなければなりません(特に優秀と認められた場合は、特例として在学期間の短縮が認められます)。
- 「EBPM概論」(必修・2単位)、「EBPM演習」(必修・6単位×3年間)のほかは、自由に授業を履修できます。ただし、「EBPMワークショップ」に参加し、研究報告を年1回以上行うことが求められます。
- EBPMプログラム修了時には、博士学位とともにEBPMプログラム修了証書が授与されます。



## 一橋大学 EBPMプログラムの概要

本プログラムは、すでに修士号を取得し社会の第一線で活躍されている社会人の方々を対象に、EBPMのための高度な実証研究を行うための専門的な知識を習得していただくために大学院経済学研究科の博士後期課程に新設されたプログラムです。

EBPMを担う人材として活躍



修了

一橋大学博士(経済学)  
EBPMプログラム修了証書



学位論文

学位論文の提出



共同研究

指導教員との  
共同研究も可能



履修

- EBPMプログラム特別科目  
EBPM概論(2単位、必修)  
EBPM演習(6単位 × 3年)  
EBPMワークショップ
- その他、多彩な科目群から  
自由に選択・履修



- 20単位以上取得、3年以上在学が必要  
(特に優秀と認められた場合は、特例として在学期間の短縮が認められます)

選考

- 入試合格
- 博士課程入学
- 指導教員の決定
- EBPMプログラムの選考

